

おしゃれ交通安全反射板

交通事故防止に役立ちながら、アクセサリとして身につけられるおしゃれなリフレクター(反射板)が、人気を集めている。日一日と、日没が早まる秋。自動車のライトなどに光るリフレクターは、夜道でのジョギングや愛犬との散歩、日没後の帰宅など、様々な場面で役立つそうだ。

リフレクターを販売するスカンジップ(東京)は、北欧製を中心に、キーホルダーやステッカーなど約50種類を扱う。優れた反射力を持ちながら、デザイン性が高いのが特徴。夜間の運転で、車のロービームでは30〜50メートルで近づかないと歩行者が見えないのに対し、リフレクターを付けければ、ロービームで125メートル、ハイビームでは300〜450メートルから存在を確認できるという。昨年は、2006年のスタート時の3倍にあたる約1万個を販売した。

同社が扱うフィンランド製の「ライフセーパー」(1680円)は落ち着いたデザインのリフレクター。円形や四角形で、

同国の豊かな自然をイメージした草花の模様などが描かれている。色は、緑やゴールドなど4色。同じフィンランド製の「キール」(1260円)は、ムーミンやスマイルマークなどかわいらしいデザインになっている。ノルウェー製の「シミ



おしゃれなリフレクターの「ライフセーパー」(左)、「キール」(右)、小物入れに振り付けた「シミ」(上) 関白寛人撮影

ムーミンや草花 北欧デザイン人気

1(630円)はステッカータイプ。雨具やカバンなどにはり付けられ、水にぬらしてもはがれないという。動物や蝶、○×などのデザインがある。

ブランドン銀座(東京)で人気を集めるのは、スウェーデン製のキーホルダー「グリミス」(630円)。8月下旬から発売し、10月に入ってからは、1週間で約1000個ペースで売れている。赤、白、青、レインボーカラーなど色鮮やかなリフレクターを、動物や乗り物、お化け、ハートなどにかたどっている。デザインは約100種類に及ぶ。

北欧は緯度が高く、秋から冬にかけて夜が長い。そのため、交通事故防止対策としてリフレクターが普及しているという。

スカンジップ代表の海木庸子さんは「バッグやペーパーなどにリフレクターを付けるだけで、夜道でもドライバーからの視認性を高められる。おしゃれにさり気なく、交通事故の防止に役立てて下さい」と話している。